

# 意見聴取 記録

件名	【指定管理者制度】第3回有識者意見聴取
年月日 場所	令和5年4月28日（金曜日） 13:00～15:00 杉並区役所内会議室
出席者	有識者：岡田 知弘氏（京都橘大学 経済学部教授、京都大学名誉教授） 区側：区政経営改革担当課長（森）、企画課企画調整担当係長（伏田）、企画課職員（窪田）
配布資料	資料1 「第2回有識者意見聴取の記録」 資料2 意見の反映状況 資料3 検証のまとめのイメージ
概要	<p>配布資料等に基づき区側から説明を行いながら、有識者から意見を聴取した。</p> <p><b>1 第2回意見聴取の振り返りについて</b></p> <p>(1) 資料1 「第2回有識者意見聴取の記録」の確認。</p> <p>(2) 資料2 意見の反映状況について (No.6について) 離職者数の追加調査は、令和4年度から令和5年度にかけて退職した人数を調査すれば良い。また、雇用形態別に調査すると良い。</p> <p><b>2 意見聴取について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・資料3-1：第1章の2の頭文に指定管理を決定する機関を記載すべきである。</li><li>・資料3-1：第1章の2（3）にある「法人格が変わる場合」の表記は、注釈を入れるべきである。</li><li>・区公式ホームページ参照とする部分はURLか二次元コードを載せるべきである。</li><li>・対象施設のマップを追加し、分布状況を可視化すると良い。その際、施設種別ごとにマークを変えると、より分布状況が明確となる。</li><li>・資料3-2：第2章の2（5）について、様々な視点からの意見があるため、どのように分かりやすく記載するのか考える必要がある。また、施設ごとに示すだけでなく、共通項（防災関係や情報公開など）の総括的な比較を章のまとめに記載すると、今後の指定管理者制度の運営にとって大事なことが見える可能性もある。</li><li>・資料3-3：第3章の2に各施設の回答率を記載すべきである。</li><li>・各施設別に従事者の居住地（区民比率）を把握しておくが良い。</li><li>・区民調査において、利用者数が少ない施設（保育施設2名等）については、調査結果としてデータを示すことには意味があるが、そのデータの分析をもって当該施設の利用者意見の傾向とまでは言えないことに留意する必要がある。</li><li>・各施設の利用者数の推移を追加調査するならば、施設設置地域の人口の推移と利用率の推移の比較を記載することも指標の取り方の一つである。</li><li>・自由意見でデジタル化対応の要望が多いので、対応を進めるに当たって、区と指定管理者の負担割合等の課題があることを記載すると良い。</li><li>・最終章については、施設種別を基本としながら、行政側・従事者側・区民側、各章の分析を経て出てきた様々な視点からの意向や問題点を挙げて、解決方法を模索していくような論点提示をし、総括としてまとめると良い。</li><li>・資料編にはグラフではなくデータの表を示すのが良い。</li><li>・指定管理者施設一覧に指定管理廃止になった施設も入れると良い。</li></ul>

# 意見聴取 記録

件名	【指定管理者制度】第3回有識者意見聴取
年月日 場所	令和5年4月25日（火曜日） 15:00～17:00 オンライン開催
出席者	有識者：林 正義氏（東京大学 大学院経済学研究科 経済学部教授） 区側：区政経営改革担当課長（森）、企画課企画調整担当係長（伏田）、企画課職員（窪田）
配布資料	資料1 「第2回有識者意見聴取の記録」 資料2 意見の反映状況 資料3 検証のまとめのイメージ
概要	<p>配布資料等に基づき区側から説明を行いながら、有識者から意見を聴取した。</p> <p><b>1 第2回意見聴取の振り返りについて</b></p> <p>(1) 資料1 「第2回有識者意見聴取の記録」の確認。</p> <p>(2) 資料2 意見の反映状況について (No.5について)</p> <p>利用者数の推移がコロナウイルス感染症拡大の影響であるか、指定管理者制度導入によるものなのか判断できない施設があれば、その旨を記載するとともに、利用者の推移から導入効果を分析するには、限界があることを記載したほうがよい。</p> <p><b>2 意見聴取について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 図表に番号を振ること。</li><li>・ 和暦に西暦を併記すること。</li><li>・ 区民視点で、わかりにくい言葉には注釈つけること。</li><li>・ 対象施設一覧に指定管理者制度の導入年度を追記すること。</li><li>・ 一般的には各章の冒頭にリード文を入れる。行政の報告書はそうでもないものが散見されるが、検討してほしい。</li><li>・ 資料3-2：第2章の利用者数の推移グラフは、利用者数推移の傾向を伝えるグラフであることから、1,000人単位で人数を丸めて示すと見やすい。利用者の数値は資料編で示せば良い。</li><li>・ 資料3-2：第2章のモニタリング結果の箇所に、モニタリングの説明が第1章にあるとの注釈を入れるべきである。</li><li>・ 資料3-2：第2章のコスト比較について、複数施設のコストを合計で示している理由を記載すべきである。また、「決算額」という文言は区民には分かりにくいいため、もっと丁寧な表記にすべきである。加えて、コスト比較により何を示したいのか記載すべきである。</li><li>・ 資料3-2：1つの設問に対し、回答者全体、男女別など複数のグラフを作成する場合は、グラフごとにサンプル数を示す必要がある。</li><li>・ グラフは、比較しやすくするため、円グラフではなく、帯グラフにすべきである。また、誰にでもわかるよう、色分けではなく、模様で示すなどの工夫をすべきである。</li><li>・ 資料3-3：第3章の相関関係は、散布図ではなくヒストグラムを使うべきである。</li><li>・ 資料3-3：第3章は、従事者全体ではなく、従事者調査に回答した人を対象に分析を行っていることから、誤解を生まないようその旨を記載すべきである。</li><li>・ 資料3-3：従事者の就業形態等について、文言の定義を記載すべきである。</li></ul>